



三島カルチャーをつくる人びと

32

Via701 館長 秋元亮彦氏



プロフィール

1978年沼津市生まれ。日本大学理工学部を経て1999年(株)平成建設へ入社。3年間型枠大工、鷹、土工事に従事し、静岡東部エリア・東京エリアで営業職を12年担当。その後、本社企画部にて様々な営業支援や広報、商品開発・不動産開発等に携わりつつ2023年1月にVia701新館長に就任。

「ものづくり好き」が つなぐ文化拠点に

2023年1月、20年以上に亘り商店街を活性化し、三島の文化拠点となっていたVia701が装い新たに生まれ変わりました。市民はもちろん、ものづくりやアート鑑賞、建築愛好家も楽しめる文化拠点として動き出しています。その仕掛け人である、館長秋元亮彦氏にお話を伺いました。

セプトは継承しながら、新たな文化の交流が生まれる場所に変えていこうという発想に至りました。ギャラリーやホールで様々な作品が発表され、人が集まる場所だった歴史に、我々がどんな付加価値をつけられるか考えました。

ものづくりからアート・モノ・コトが繋がる場所

1階は「根継商店」です。プロの大工が常駐して工具や木材を使ってDIY作業やワークショップができる貸しスペース「まの作業場」と、建築アイテム・家具・木製品の展示販売や建築とアートに特化した品揃えのマネアックな「ものづくり書店」です。2階はこれまで通りのレストラン「レスカリエ・ド・三島」とレンタルギャラリーで、地域の皆様にご利用いただいています。

DIYができるスペースは他県等にもありますが、現役のプロの大工が常駐しているところはほとんど無いと思います。我々が所属する会社は自社で100人以上の大工を育てている全国的にも珍しい建設会社です。そんな会社の技術を担う大工が常駐する、DIYや木工のワークショップが気軽に出来る場所があったらとレンタルスペースを作りました。また、普段の仕事では建築の関係者として話すことがないスタッフが、時々ここで色々なお客さんと関わることも新鮮で、対応力の養成にも繋がっています。

「どのような経緯からこのスペースをつくられたのですか。」
Via701は1999年に商店街の方々によって、三島に文化の発信や人が交流する場所が必要だという思いからつくられた建物です。この場所の運営を普段は建設会社の社員である我々が引き継ぐことになり、改めてVia701の歴史や三島の文化、周辺環境などを調査し、大元のコン

「三島にはどんな印象をお持ちですか。」
私は沼津出身ですが、三島の街は首都圏からの移住者も多く、常に新しい人が入ってくる感じがあります。根継商店周辺もマンションがどんどん建っています。そんな新陳代謝がある街でありながら、三嶋大社や三嶋大祭りといった伝統的な面も色濃く残っていて、川や緑といった自然もあり、コンパクトな中にさまざまな年代や価値観が共存する多様性が豊かな街だと感じています。一言で言えば「濃い」ですね。



根継商店のDIYスペース「まちの作業場」

「ほかにはどんな特徴がありますか？」
ものづくり書店は、様々な建築のプロによるお薦めの本が並んでいます。中には世界的に有名な建築家の推薦図書コーナーや、大工さんお薦めのマネアックな本もあり、大型書店に負けない濃い品揃えとなっております。絵本であっても、家づくりや大工がテーマのものばかりですよ。専門書店が少なくなっている今だからこそ、建築の好きな人がわざわざ来なくなるような、新たな発見や交流に繋がるような場所を目指しています。

「三島にはどんな印象をお持ちですか。」
私は沼津出身ですが、三島の街は首都圏からの移住者も多く、常に新しい人が入ってくる感じがあります。根継商店周辺もマンションがどんどん建っています。そんな新陳代謝がある街でありながら、三嶋大社や三嶋大祭りといった伝統的な面も色濃く残っていて、川や緑といった自然もあり、コンパクトな中にさまざまな年代や価値観が共存する多様性が豊かな街だと感じています。一言で言えば「濃い」ですね。

「今計画中の新しい試みや、やってみたいことを教えてください。」
棚や空いたスペースを低価格でレンタルできるようにして、気軽な展示・販売スペースにする企画を進めています。地域のアーティストやものづくりをする方々に使ってほしいことを教えてください。

「三島にはどんな印象をお持ちですか。」
私は沼津出身ですが、三島の街は首都圏からの移住者も多く、常に新しい人が入ってくる感じがあります。根継商店周辺もマンションがどんどん建っています。そんな新陳代謝がある街でありながら、三嶋大社や三嶋大祭りといった伝統的な面も色濃く残っていて、川や緑といった自然もあり、コンパクトな中にさまざまな年代や価値観が共存する多様性が豊かな街だと感じています。一言で言えば「濃い」ですね。

連携から交流や発見が生まれる場所に

「オープンから1年、どんなことが印象深いですか。」
学校や公的な機関、さまざまな活動をしている方々との交流は、想定外の嬉しい

「今計画中の新しい試みや、やってみたいことを教えてください。」
棚や空いたスペースを低価格でレンタルできるようにして、気軽な展示・販売スペースにする企画を進めています。地域のアーティストやものづくりをする方々に使って

「街の文化の発展へ」
地域の文化活動への支援という思いから、2階のギャラリーは学生の利用を7割引にしています。特に作家やクリエイターを目指す学生や団体に積極的にここを使っていたきたいと考えています。街中の本格的なギャラリーで、創作する楽しさ、たくさんの人に見てもらえる喜び



Via701
三島市本町 7-30
TEL 055-955-5770

三島カルチャーをつくる人びと」は、「三島の文化応援プロジェクト」が、三島周辺に拠点置く企業や三島の文化に関わる方々に、三島の文化についてインタビューするシリーズ企画です。配布場所／生涯学習センター、三島市民文化会館、市内文化施設等。詳しくは下記のWebサイトをご覧ください。